



# マンボウ (満望)

★河崎小学校5年生だより★

2012年7月6日 27号



## ★佐渡の田んぼは、生き物からほめられています！

社会科の学習では、日本の米農家が抱える問題を「グラフ」から読みとりました。米農家が減っていることや高い値段のコシヒカリが売れなくなる可能性があること、また、外国から非常に安いお米が輸入されていることなど、たくさんの問題を抱えていることを学びまし



た。しかし、問題ばかりではありません。問題を克服するために農家の人たちはどのような取り組みをしているかという学習も行いました。今回は、もっと踏み込み、「佐渡では、諸問題の克服をどのように行っているか」ということを知ってもらうために、JAの米穀販売課の渡部さんからお越し頂き、佐渡の米作りのチャレンジの現状を伝えていただきました。

渡部さんは、佐渡のお米を消費地（東京などのお米屋さん）に売り込むという仕事をされています。佐渡のお米のおいしさを伝えるために日々、奮闘されている方です。渡部さんから佐渡で、もっとも農家がかんばっていると言えるのは、「トキ認証米制度」だというお話がありました。この制度を取り入れたことにより、環境によいお米作りに取り組む農家が増えたとのことでした。また、田んぼの生き物が増えたり、お米が高く売れたりするので、農家の人の満足度が上がったというお話がありました。

お米作りは、大変な仕事だと思います。しかし、日本の食卓を支える大事なお仕事です。将来、このクラスの中からも日本の食卓を支える仕事をする人が出たらいいなと感じました。

## ☆子どもたちの感想☆

- ・ 佐渡では、70 万人分のお米を作っているけど、もし、お米を作らない人が増えたら、お米を食べられなくなるから将来、少しでも、お米作りのお手伝いをしたいです。〈健人さん〉
- ・ 田んぼは、雨水をためるダムだと言うことが分かりました。田んぼをやめると水が流れ、土砂崩れが起こる可能性があります。田んぼは、あらためて大切だと分かりました。佐渡のお米は、大勢の人の食卓を支えていることも分かりました。〈楓さん〉
- ・ 佐渡は、人口が少ないのに 70 万人分のお米を作れるなんてすごいと思った。お米作りは、大変なので、手伝いたいと思いました。あまり田んぼをなくさないで、お米作った方がいいなと思いました。〈航さん〉
- ・ 田んぼは、とても大切なものだと分かりました。なぜなら、農家の人が作ったお米が大勢の人の食卓を支えているからです。それと佐渡では、人口の10倍以上の 70 万人分のお米も作れることが分かってびっくりしました。〈愛音〉
- ・ 田んぼの役割が分かりました。1 つは、大勢の人の食卓を支えていることです。2 つめは、雨水もためるので、ダムのような役割をしていることです。もし、やめると大変なことが起こることも分かりました。 〈みのりさん〉
- ・ 私は、生き物にほめられたなんて、そんな考え方は初めて聞きました。お米の株 3 株でご飯 1 杯分だと分かりました。おじいちゃんやおばあちゃんは、とても、とても大変な思いをして作っているのだと分かりました。〈琴巳さん〉
- ・ 本当に田んぼをやっている人は、すごいなと感じました。大変なことがあるかもしれないけど、高く売れるコシヒカリを作ってがんばっているのだと思いました。〈侑生さん〉
- ・ 田んぼは、雨水をためるダムだと分かりました。 〈一成さん〉
- ・ 佐渡では、お米作りをやっている人が 1000 人もいることが分かりました。また、農薬を使わずに無農薬で生き物を増やしていることも分かりました。〈賢太郎さん〉
- ・ トキ認証米は、生き物にほめられていると言うことになることが分かりました。トキは、山奥に住めばいいと思っていたけど、トキにとっては、餌のある里に住んだ方がいいことに気がきました。〈大巖さん〉
- ・ 田んぼは、お米を作るだけでなく、洪水になるのを防ぐ役割があることにも気がきました。ぼくは、お米が減らないように将来お米を作りたいと思いました。〈皓祐さん〉

